発明の新規性の喪失の例外の規定の適用を受けるための証明書

１．公開の事実

① 試験日 令和２年１月１５日

② 試験場所 日本特実サーキット （三重県○○市・・・）

③ 試験を行った者 特許太郎

④ 試験内容 特許太郎が、日本特実サーキットにて、特許太郎が発明した新規合成ゴムを原料に用いたタイヤについて、その性能比較試験を行った。

２．特許を受ける権利の承継等の事実

① 公開された発明の発明者

特許 太郎 （神奈川県○○市・・・）

② 発明の公開の原因となる行為時の特許を受ける権利を有する者（行為時の権利者）

特許 太郎

③ 特許出願人（願書に記載された者）

特許 太郎

④ 公開者

特許 太郎

⑤ 特許を受ける権利の承継について（※①から③が完全一致する場合省略可能）

公開の事実に記載の公開行為により公開された発明は、特許太郎によって発明されたものであり、その後公開時の令和１年１１月１５日を経て、特許出願時の令和２年４月１２日に至るまで、特許を受ける権利は特許太郎が保有していた。

⑥ 行為時の権利者と公開者との関係等について（※②と④が完全一致する場合省略可能）  
（行為時の権利者の行為に起因して、公開者が公開したこと等を記載）

行為時の権利者である特許太郎自ら、新規合成ゴムを原料に用いたタイヤ性能比較試験について、公開の事実に記載のとおり公開を行った。

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

上記記載事項が事実に相違ないことを証明します。

令和２年４月２７日

特許 太郎 ㊞